セルフメディケーション税制改正要望などについて

資料４

1. セルフメディケーション税制などに関する意識調査結果

2. 2026年（令和8年）セルフメディケーション税制改正要望

3. 普及啓発活動

日本一般用医薬品連合会
理事長　磯部 総一郎
（兼 日本OTC医薬品協会 理事長）

※本資料における「OTC医薬品」は、薬機法上の「要指導医薬品」及び「一般用医薬品」を指します

セルフメディケーション税制などに関する意識調査結果

実施概要

調査対象	・全国の男女20～69歳 ・調査会社（インテージ）の調査に協力しているモニターの方 ・性年代別・エリア別人口構成比率に合わせて補正を実施（ウェイトバック）
調査手法	インターネット調査（15万サンプルを集めるため、約70万人に調査を配信）
調査例数	■一次調査：152,192サンプル ■二次調査：1,219サンプル ※ ※二次調査のサンプルは、下記のセグメントのサンプルを確保。 ①過去3年間にセルメ税制を利用したと答えた人（119名） ②過去3年間にセルメ税制と医療費控除を使い分けたと答えた人（98名） ③過去3年間に医療費控除のみを利用したと答えた人（333名） ④過去3年間に確定申告はしたが、セルメ税制・医療費控除ともに申告しなかったと答えた人（335名） ⑤過去3年間に確定申告はしなかったが、セルメ税制利用意向がある人（168名） ⑥過去3年間に確定申告・セルメ税制・医療費控除ともに申告しなかったと答えた人（166名）
実施時期	■一次調査：2024/7/4（木）～7/8（月） ■二次調査：2024/7/26（金）～7/30（月）
調査実施機関	株式会社インテージヘルスケア

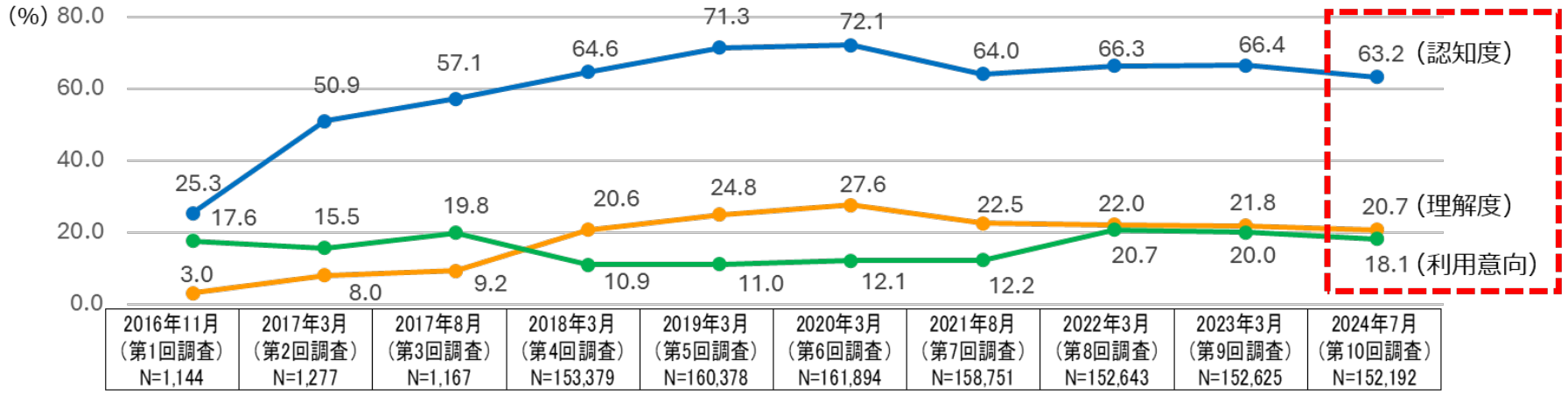
セルフメディケーション税制などに関する意識調査結果

＜設問＞セルフメディケーション税制をご存じですか？
＜選択肢＞ ①よく知っている ②知っている
③聞いたことはあるがあまり知らない ④聞いたことはあるが知らない ⑤知らない
認知度：①～④ の合計
理解度：①～② の合計

＜設問＞セルフメディケーション税制を利用したいですか？
＜選択肢＞①利用したい ②まあ利用したい ③どちらともいえない ④あまり利用したくない ⑤利用したくない
利用意向：①を集計

認知度・理解度・利用意向

＊『聞いたことがある』という認知は高くなったが、内容理解度は低く、利用意向も低い



課題：内容の理解度が低く、利用意向が低い

セルフメディケーション税制などに関する意識調査結果

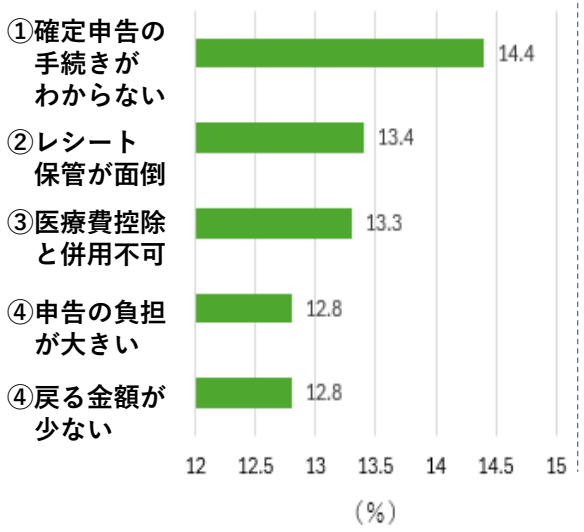
セルメ税制に対する生活者の意識・要望

一次調査（約15万人を対象）　二次調査（1,219人を対象）

過去3年間で
- ①セルメ税制を利用したと答えた人（119名）
- ②セルメ税制と医療費控除を使い分けたと答えた人（98名）
- ③医療費控除のみを利用したと答えた人（333名）
- ④確定申告はしたが、セルメ税制・医療費控除ともに申告しなかったと答えた人（335名）
- **⑤確定申告はしなかったが、セルメ税制利用意向がある人（168名）**
- ⑥確定申告・セルメ税制・医療費控除ともに申告しなかったと答えた人（166名）

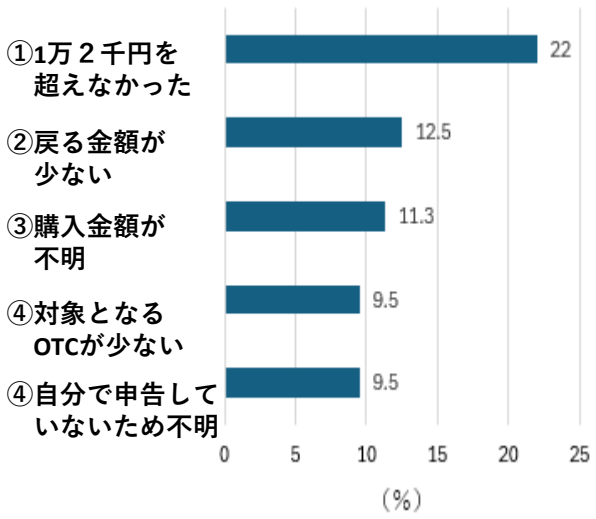
申告時の不便な点

■全サンプル（n=152,192）



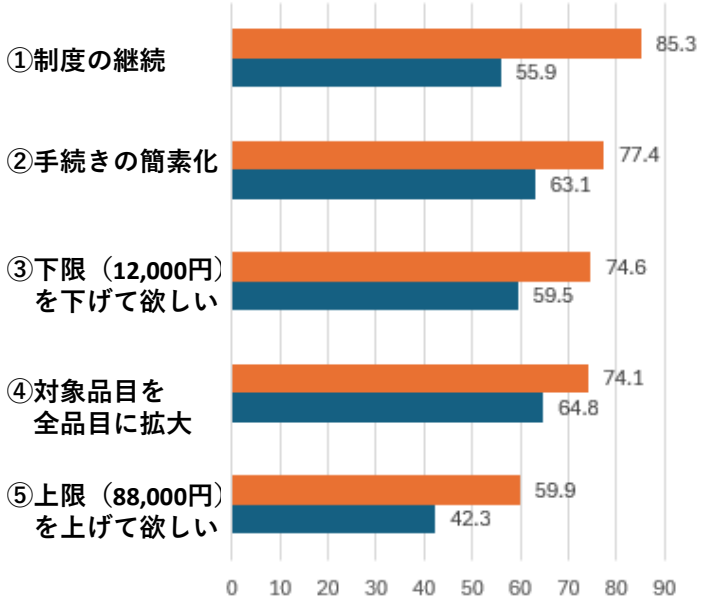
利用しなかった理由

■⑤セルメ税制利用意向のある人（168名）



改善要望

■①セルメ税制を利用したと答えた人（119名）
■②セルメ税制と医療費控除を使い分けたと答えた人（98名）
■⑤セルメ税制利用意向のある人（168名）



複数回答で上位5位の項目を抽出

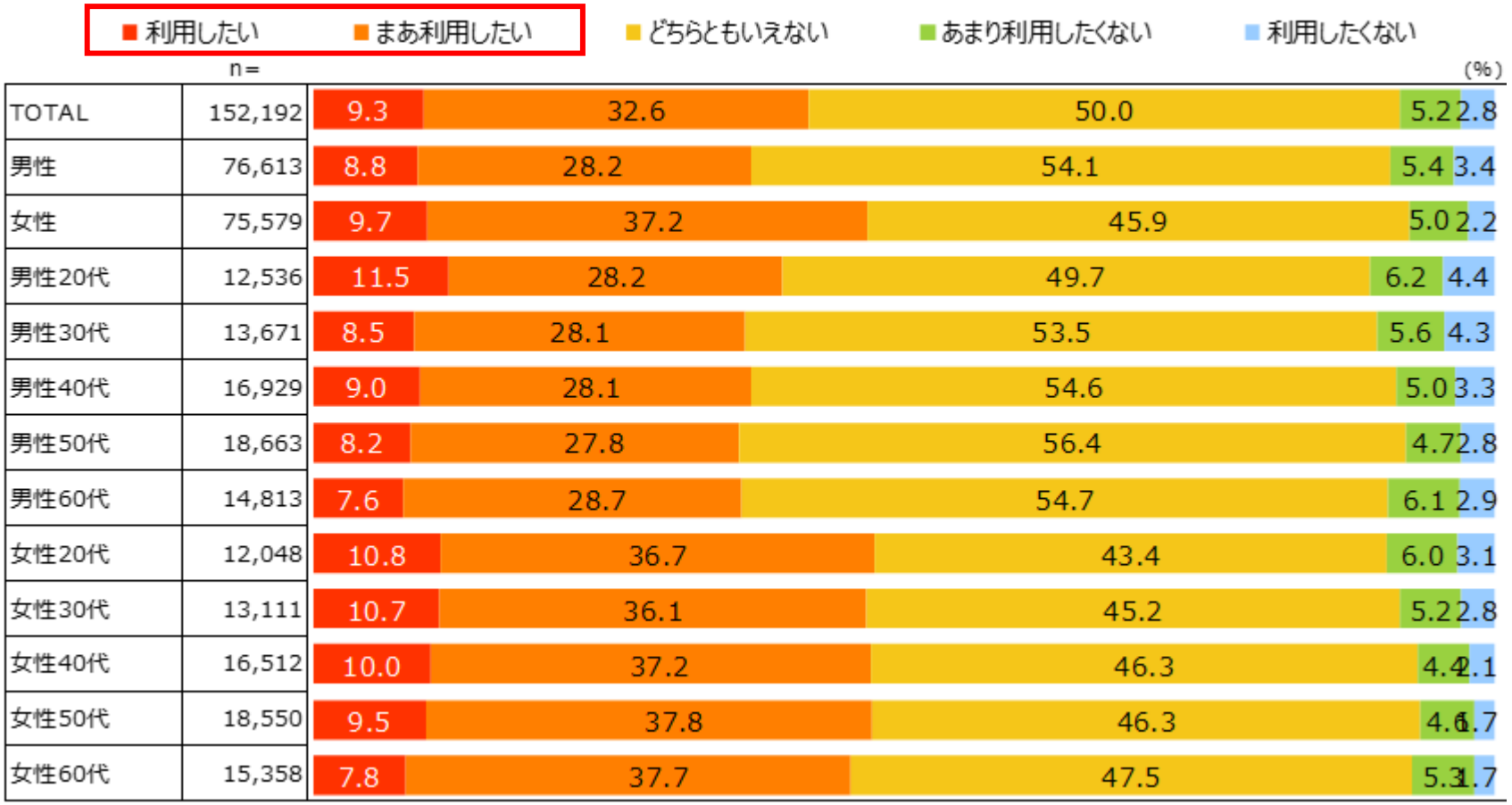
5段階評価でTOP2（そう思う、ややそう思う）を集計

出典：日本一般用医薬品連合会　セルフメディケーション税制に関する生活者調査2024

生活者意識調査からみたOTC医薬品の状況

＜設問＞

薬局やドラッグストアで薬剤師にOTC医薬品（市販薬）の購入、
セルフメディケーションについて相談できる制度を利用したいですか？



	n=	利用したい	まあ利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	利用したくない
						(%)
TOTAL	152,192	9.3	32.6	50.0	5.2	2.8
男性	76,613	8.8	28.2	54.1	5.4	3.4
女性	75,579	9.7	37.2	45.9	5.0	2.2
男性20代	12,536	11.5	28.2	49.7	6.2	4.4
男性30代	13,671	8.5	28.1	53.5	5.6	4.3
男性40代	16,929	9.0	28.1	54.6	5.0	3.3
男性50代	18,663	8.2	27.8	56.4	4.7	2.8
男性60代	14,813	7.6	28.7	54.7	6.1	2.9
女性20代	12,048	10.8	36.7	43.4	6.0	3.1
女性30代	13,111	10.7	36.1	45.2	5.2	2.8
女性40代	16,512	10.0	37.2	46.3	4.4	2.1
女性50代	18,550	9.5	37.8	46.3	4.6	1.7
女性60代	15,358	7.8	37.7	47.5	5.3	1.7

出典：日本一般用医薬品連合会　セルフメディケーション税制に関する生活者調査　2024年

生活者意識調査からみたOTC医薬品の状況

＜設問＞

普段のOTCの買い物・対処、病院の受診、健康相談に関する意識・行動
2023年の1年間（2023年1月～12月）で行ったこと

	n=	■OTCの買い物・対処について				■病院の対処について	■健康意識と行動について	
		軽い症状であれば、OTC医薬品で対処する	OTC医薬品で早めの対処を行う	薬局やドラッグストアでの買い物で、薬剤師や店員に相談する	OTC医薬品をインターネット通販で購入する	軽い症状であっても病院や診療所に行く	運動や睡眠などの生活習慣に気をつかう	健康食品、サプリメント、機能性食品を買ったり、栄養バランスを考えて食事を摂るなど、食生活に気をつかう
2022年TOTAL	152,643	21.5	7.7	4.2	2.5	4.1	-	17.0
2023年TOTAL	152,625	20.7	7.5	3.8	2.6	4.2	-	16.8
2024年TOTAL	152,192	19.7	7.2	4.2	2.5	3.1	18.6	10.4
男性	76,613	13.4	4.7	2.7	2.2	2.6	15.3	7.3
女性	75,579	26.1	9.8	5.7	2.7	3.6	21.9	13.4

出典：日本一般用医薬品連合会　セルフメディケーション税制に関する生活者調査　2024年

生活者意識調査からみたOTC医薬品の状況

＜設問＞

１年間の経験症状と対応状況と
OTC医薬品の活用状況（複数回答）

	n=	■2023年の1年間（2023年1月～12月）に症状を経験した	病院や診療所を受診した	OTC医薬品（市販薬）を服用・使用した	OTC検査薬（一般用検査薬）を使用した
熱・頭痛、咳や痰がでる、のどの痛みなどの風邪の症状	152,192	53.3	27.9	21.0	4.8
風邪以外の、のどの炎症による、声がれ、のどの腫れ、のどの痛み	152,192	37.6	14.8	12.3	2.4
鼻のアレルギー症状（鼻づまり・鼻汁・くしゃみなど）	152,192	45.4	16.0	14.0	1.5
目のアレルギー症状（かゆみ、充血、腫れなど）	152,192	35.7	10.6	12.2	1.0
目の疲れ、目のかすみ、目の乾き	152,192	44.1	6.1	15.7	1.0
腰痛、関節痛、肩こり	152,192	54.4	10.2	11.2	1.0
頭痛	152,192	44.1	4.2	21.1	1.2
片頭痛	152,192	30.9	3.3	13.0	1.0
生理痛【女性】	75,579	38.3	2.4	18.3	0.8
胃の痛み、胃酸過多、胃もたれ・胃のむかつき・胸やけ、消化不良など	152,192	38.7	5.5	14.6	1.0
下痢、便秘、痔疾	152,192	46.2	4.9	12.0	0.9
疲れ・だるさ・倦怠感	152,192	57.3	2.4	3.2	0.5
皮膚のかゆみ、湿疹、発疹	152,192	44.0	11.8	15.3	1.1
ニキビ・シミ、乾燥肌	152,192	38.1	3.6	5.5	0.6
頻尿（尿が出る回数が多い）、尿もれ、尿が出にくいなど	152,192	21.1	2.0	0.7	0.3
眠れない	152,192	36.4	5.5	1.3	0.5
腟カンジダ【女性】	75,579	5.6	1.5	0.7	0.2
薄毛・抜け毛	152,192	21.2	1.1	1.9	0.4
口内炎	152,192	28.9	1.5	5.8	0.5
むくみ、しびれ	152,192	25.9	1.9	0.7	0.3
血圧が高め、中性脂肪やコレステロールが高め、血糖値が高め	152,192	34.0	15.2	0.9	0.8
水虫	152,192	11.8	1.7	3.2	0.4
禁煙	152,192	9.7	0.3	0.3	0.2
妊娠の可能性【女性】	75,579	5.3	2.5	0.2	1.0

出典：日本一般用医薬品連合会　セルフメディケーション税制に関する生活者調査　2024年

2026年（令和8年）セルフメディケーション税制改正要望

●セルフメディケーション税制の対象医薬品の拡大

セルフメディケーション税制の対象医薬品を、現行のセルフメデイケーション税制対象品から、**すべてのOTC医薬品・OTC検査薬に拡大**すること。

●OTC購入費から差し引く金額および上限額の変更

購入費から差し引く金額を、**現行の１万２千円から０円に引き下げ**、所得控除の上限額を、**現行の８万８千円から20万円に引き上げる**こと（税制利用は1万2千円以上を条件）

●制度の恒久化

セルフメディケーション税制を**医療費控除と同様に恒久化**すること

●セルフメディケーション税制の対象医薬品の拡大

セルフメディケーション税制の対象医薬品を、現行のセルフメデイケーション税制対象品から、すべてのOTC医薬品・OTC検査薬に拡大すること

考え方①：自分の健康は自分のために自分で守るというセルフケアや、
軽微な身体的不調は自分自身で治すセルフメディケーションに関する
生活者の意識を醸成することが最重要と考えている。
生活者調査からも、「すべてのOTC医薬品・OTC検査薬に拡大」の要望が多く、
「申告条件の12,000円をクリアしやすくなる」ことが考えられる。

考え方②：QOLの向上・健康寿命の延伸のために、治療薬のみならず、保健薬・検査薬の
活用等による日頃の自己管理・セルフケアが大切であると考えられる。

考え方③：セルフメディケーション税制は、生活者に対する直接的な支援策である。

＜国の方針＞

1. 経済財政運営と改革の基本方針2024（骨太方針2024）（令和6年6月21日） P.44

更なるスイッチOTC化の推進等※1によりセルフケア・セルフメディケーションを推進※2し、（後略）

※1：検査薬についての在り方の議論を含む。

※2：この取組は、国民自らの予防・健康意識の向上、タスクシフト／シェアの取組とともに医師の負担軽減にも資する。

2. 創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議　中間とりまとめ（令和6年5月22日） P.20

「イノベーションの推進」と「国民皆保険の持続性」が求められる中、スイッチOTC 化の推進や、情報社会の進展を踏まえ、健康に関して個別のニーズに対応した情報提供等により、自分自身の健康に主体的に向き合うヘルスリテラシー向上の観点から、セルフケア・セルフメディケーションを積極的に進めることも必要である。

セルフメディケーション税制の対象医薬品の拡大（イメージ）

セルメ税制対象品　今回の要望対象品

すべてのOTC医薬品

〇風邪薬
〇鎮咳去痰薬（**※生薬のみからなるものを除く**）
〇解熱鎮痛薬
〇鼻炎用点鼻薬
〇鼻炎用内服薬
〇外用鎮痛消炎薬
〇抗ヒでアレルギー（かゆみ）効能のあるもの
〇漢方薬（マオウ、ジリュウを含むもの）
〇スイッチOTC（93成分、
但しメコバラミン、フッ素、Lーアスパラギン酸カルシウムを除く）

〇胃腸薬
・制酸薬（H_2ブロッカーを除く）
・健胃薬
・整腸薬
・消化薬
・鎮痛鎮痙薬
〇止瀉薬
〇瀉下薬

〇鎮咳去痰薬
（※生薬製剤含む）

〇滋養強壮保健薬
・ビタミン主薬製剤
・生薬主薬製剤
〇皮膚用薬
・皮膚軟化薬
・殺菌消毒薬
〇毛髪用薬
〇一般用点眼薬
〇女性用薬
〇漢方薬
（マオウ、ジリュウを含むものを除く）

OTC検査薬

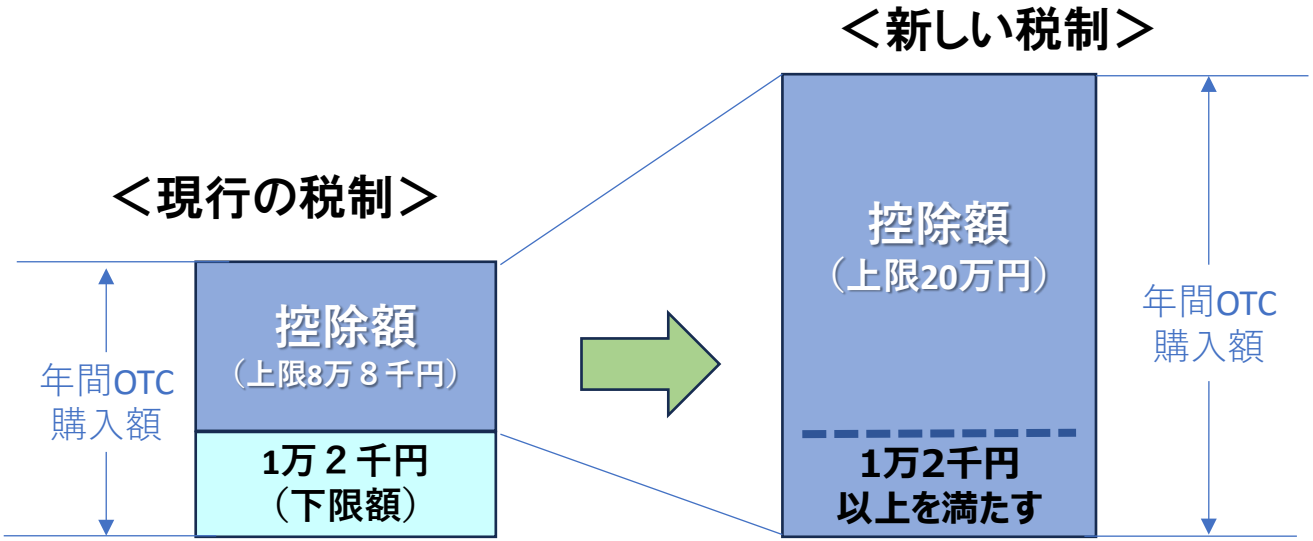
〇尿糖・尿たんぱく
〇妊娠検査
〇排卵日予測
〇新型コロナ
〇新型コロナ・
インフルエンザ

● OTC購入費から差し引く金額および上限額の変更

購入費から差し引く金額を、現行の１万２千円から０円に引き下げ、所得控除の上限額を、現行の８万８千円から20万円に引き上げること（税制利用は1万2千円以上を条件）

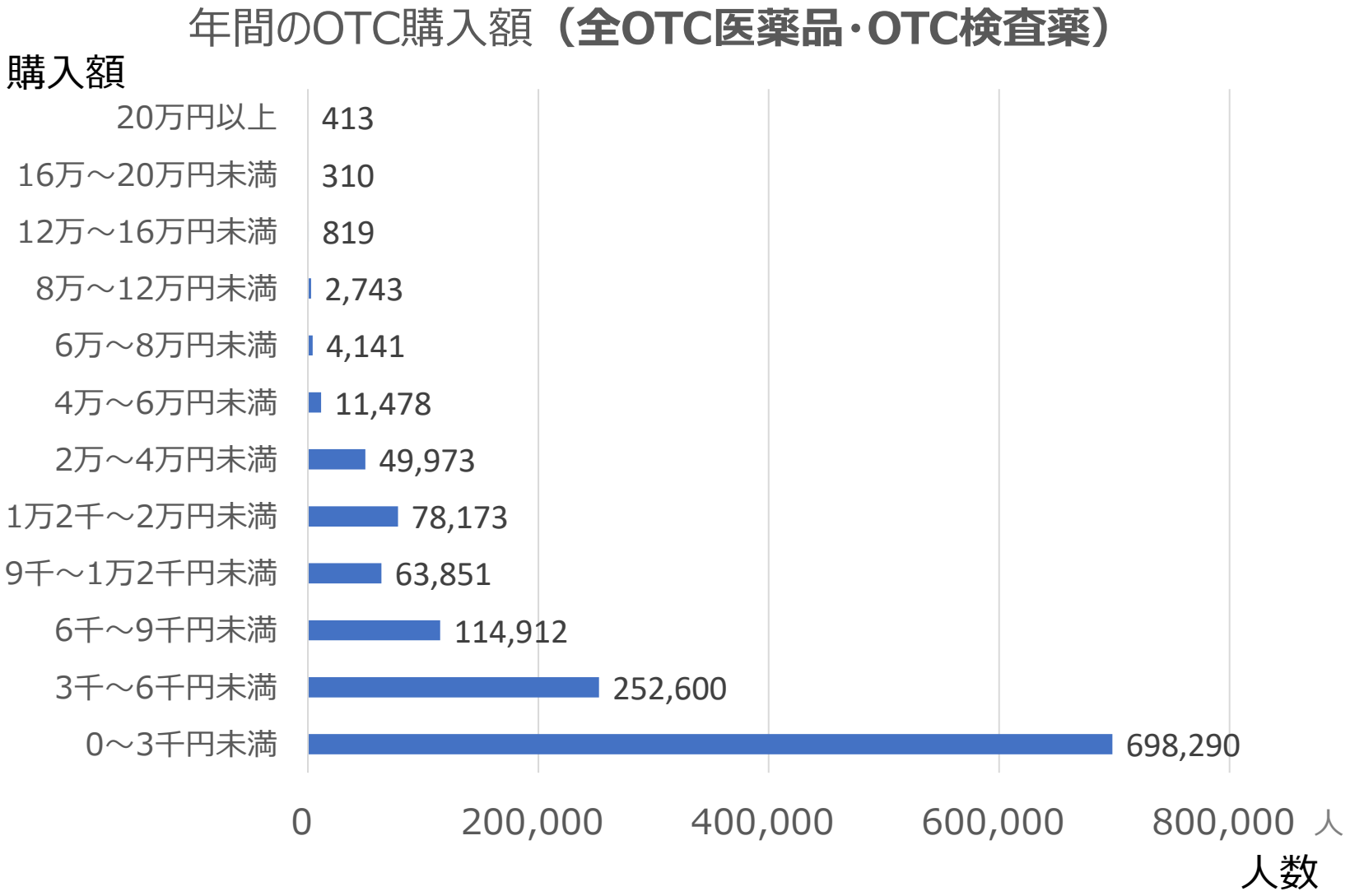
考え方①：生活者調査から　戻る金額の増額の要望が多い　ことが示されている。

考え方②：各家庭の1年間のOTC医薬品購入総額から鑑みて、OTC購入費から差し引く金額および上限額の変更は、本税制利用者のメリットとなる可能性が高い。



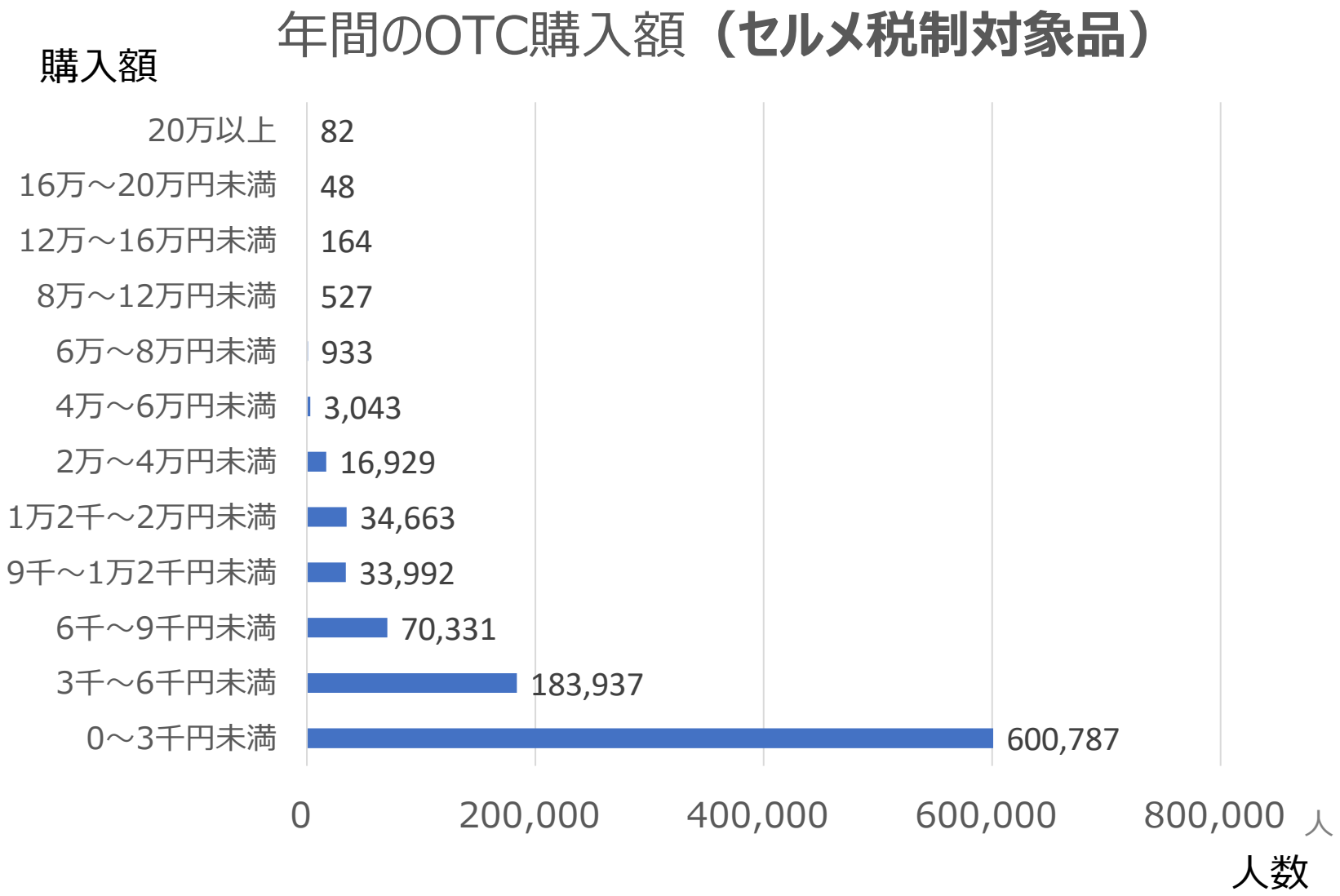
＜参考＞1年間のOTC購入金額（大手チェーンドラッグ1社分の購入データ）

期間：2024年1月～12月
総数：1,277,703名

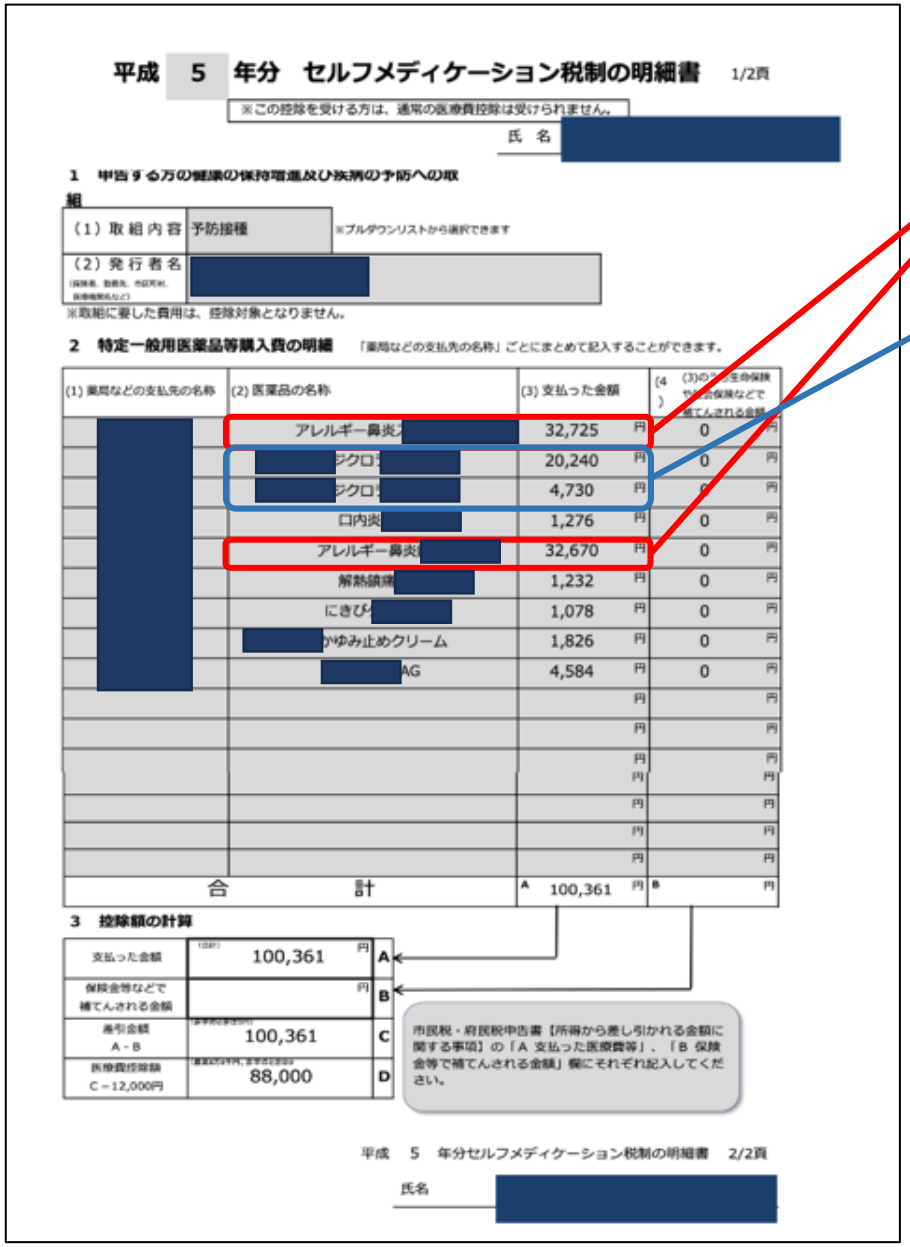


＜参考＞1年間のOTC購入金額（大手チェーンドラッグ1社分の購入データ）

期間：2024年1月～12月
総数：954,436名



＜参考＞年間OTC購入金額が10万円を超えた方の購入品目



平成 5 年分 セルフメディケーション税制の明細書 1/2頁

※この控除を受ける方は、通常の医療費控除は受けられません。

氏 名 [redacted]

1 申告する方の健康の保持増進及び疾病の予防への取組

(1) 取組内容	予防接種 ※プルダウンリストから選択できます
(2) 発行者名	[redacted]

※取組に要した費用は、控除対象となりません。

2 特定一般用医薬品等購入費の明細 「薬局などの支払先の名称」ごとにまとめて記入することができます。

(1) 薬局などの支払先の名称	(2) 医薬品の名称	(3) 支払った金額	(4) (3)のうち生命保険や損害保険などで補てんされる金額
[redacted]	アレルギー鼻炎[redacted]	32,725 円	0 円
	[redacted]クロ[redacted]	20,240 円	0 円
	[redacted]クロ[redacted]	4,730 円	0 円
	口内炎[redacted]	1,276 円	0 円
	アレルギー鼻炎[redacted]	32,670 円	0 円
	解熱鎮痛[redacted]	1,232 円	0 円
	にきび[redacted]	1,078 円	0 円
	[redacted]かゆみ止めクリーム	1,826 円	0 円
	[redacted]AG	4,584 円	0 円
		円	円
		円	円
		円	円
		円	円
		円	円
		円	円
合 計		A 100,361 円	B 円

3 控除額の計算

支払った金額	100,361 円	A
保険金等などで補てんされる金額	円	B
差引金額 A－B	100,361	C
医療費控除額 C－12,000円	88,000	D

市民税・府民税申告書【所得から差し引かれる金額に関する事項】の「A 支払った医療費等」、「B 保険金等で補てんされる金額」欄にそれぞれ記入してください。

平成 5 年分セルフメディケーション税制の明細書 2/2頁

氏名 [redacted]

鼻炎用点鼻薬　32,725円
鼻炎用内服薬　32,670円

外用消炎鎮痛薬　24,970円

＜調査目的＞
2024年3月のセルフメディケーション税制申告者を特定し、申告に用いているOTC医薬品、金額等を把握する。

＜調査方法＞
対象・地域：全国の20歳以上男女（Pontaリサーチ会員）
方法：インターネット調査

＜調査期間・サンプル数＞
期間：2024年3月30日～4月1日正午
サンプル数：1次調査　19,444サンプル

＜結果＞
セルフメディケーション税制の申告を行っており、かつセルメ税制申告書の提供等に同意頂ける方（約20名）からセルメ税制申告書を入手。

ロイヤリティ　マーケティング社調べ

●制度の恒久化

セルフメディケーション税制を医療費控除と同様に恒久化すること

考え方①：生活者調査から、本制度を継続して欲しいという要望が多いことが示されている。

考え方②：生活者調査では、医療費控除とセルメ税制が併用できないという指摘もある。
（⇒医療費控除の特例ではなく、別立ての制度として、恒久化を行う。）

考え方③：その他　生活者が簡便に税制申告するためのシステム改良には、投資が必要であり、制度の恒久化が望まれる　という声がある。

セルフメディケーション税制PR

下記団体へ、セルメ税制の周知・広報のお願いし、普及・啓発資材を提供

●保険者関係団体

- 国民健康保険中央会（国保）
- 健康保険組合連合会（健保連）
- 全国健康保険協会（協会けんぽ）



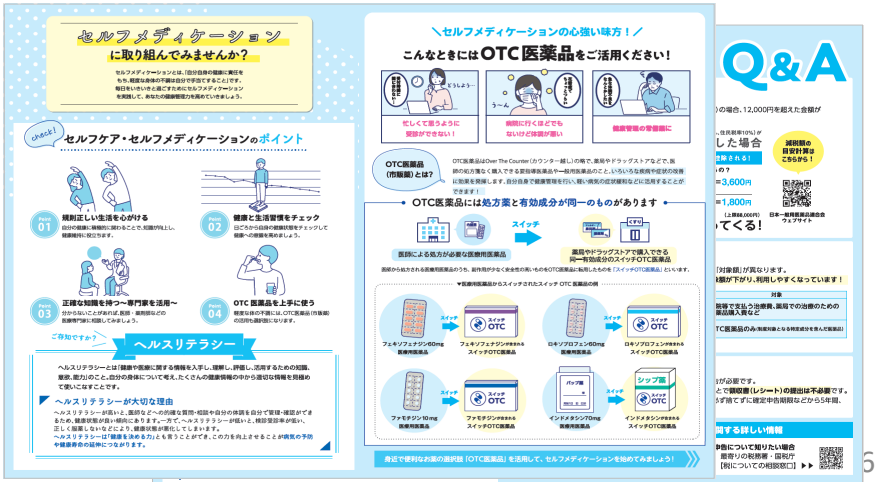


●関連団体

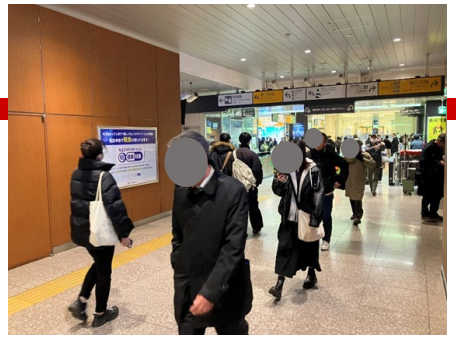
- 日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）
- 日本歯科医師会、日本薬剤師会　など







セルフメディケーション税制PR





2025年確定申告期間に合わせて

●駅貼り広告の実施

・JR東日本・西日本・東海、東京メトロ、都営地下鉄、大阪メトロ等主要約20駅

●自治体通信(　2025年3月号)にセルメ税制広告を封入(3万3千部)

●京都駅JR西日本在来線改札3ヶ所のオーロラビジョンにセルメ税制CM(30秒)を始発から終電まで放映(6分間に1回、2ヶ月間放映)





●WEB広告

・大手ドラッグストア会員の見逃し配信サイト視聴時
・ふるさと納税サイトの利用者のネット使用時

2つのセルメ税制バナーを表示

横長パターン



正方形パターン

